



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 ハマイ
コード番号 6497 URL <https://www.hamai-net.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河西 聡

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉村真介

TEL 03-3492-6711

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	7,813	△3.6	621	△8.3	717	△7.5	660	13.6
2022年12月期第3四半期	8,107	19.2	677	174.8	775	155.3	581	158.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,108百万円 (161.2%) 2022年12月期第3四半期 424百万円 (△18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	98.81	—
2022年12月期第3四半期	87.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	20,145	15,214	75.5
2022年12月期	19,788	14,289	72.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 15,214百万円 2022年12月期 14,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2023年12月期	—	10.00	—		
2023年12月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△1.7	1,000	△8.8	1,100	△11.4	950	0.1	142.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	7,424,140 株	2022年12月期	7,424,140 株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期3Q	734,260 株	2022年12月期	751,706 株
-------------	-----------	-----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	6,681,764 株	2022年12月期3Q	6,672,434 株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(修正再表示)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. その他	11
(公正取引委員会による立入検査について)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、コロナ禍からの社会活動・経済活動の制限の緩和も進み、緩やかながらも景気の回復傾向は進んでおります。その一方、世界的な金融引き締めやロシアのウクライナ侵攻に端を発する国際情勢の影響の長期化もあり、原材料価格や燃料価格を含む物価の高騰が続くなど、依然として経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループの主力商品であるLPG容器用バルブ部門の売上高は、家庭用容器用バルブの需要が低迷している中、自動車用及びバルク用の需要増や製品値上げの浸透もあり、前年同期比増収となりました。配管用バルブ部門の売上高につきましても、半導体製造装置設備向け及びその他装置向け需要が引き続き好調であることに加えて製品値上げの浸透もあり、前年同期比増収となりました。高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門につきましては、年初より半導体関連業種向けバルブ需要低迷の影響を引き続き受けており、前年同期比減収となりました。また、黄銅削り粉の売上高は取扱量の減少に伴い減収となり、全体の売上高は78億1千3百万円、前年同期比2億9千4百万円(3.6%)の減収となりました。

収益面におきましては、主要な原材料である黄銅材等の材料価格の高騰に対応した製品販売価格の改定を行った一方、減収の影響や活動制限緩和に伴う各種費用増加の影響などがあり、営業利益は6億2千1百万円、前年同期比5千6百万円(8.3%)の減益となりました。なお親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、固定資産と投資有価証券の一部整理に伴う売却益の計上もあり6億6千万円、前年同期比7千8百万円(13.6%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[バルブ事業]

当社の主力商品であるLPG容器用バルブ部門は売上高32億4千9百万円(前年同期比1.0%増)、配管用バルブ部門は売上高17億6百万円(前年同期比12.1%増)、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は売上高15億3千3百万円(前年同期比15.9%減)、その他売上高は8億9千1百万円(前年同期比19.9%減)となり、その結果、売上高は73億8千万円(前年同期比3.8%減)となり、また営業利益は3億3千6百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

[不動産賃貸事業]

賃貸収入は前年同期とほぼ同じ4億3千3百万円となり、営業利益は2億8千5百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して、1千2百万円増加し、114億6千4百万円となりました。これは主に売上債権の減少と棚卸資産の増加との差額によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末と比較して、3億4千4百万円増加し、86億8千1百万円となりました。これは主に投資有価証券の評価差額金が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して、8億1千8百万円減少し、30億6千5百万円となりました。これは主に仕入債務と未払金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比較して、2億5千万円増加し、18億6千5百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債と繰延税金負債の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、9億2千5百万円増加し、152億1千4百万円となりました。これは主に利益剰余金とその他の有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。当社グループの当連結累計期間の実績は堅調に推移しておりますが、環境・経済の変化の影響等により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,470,490	4,173,420
受取手形	1,270,574	995,687
売掛金	2,391,722	1,939,783
電子記録債権	442,400	522,529
有価証券	16,668	186,877
商品	4,395	2,717
製品	790,083	960,746
原材料	508,357	824,814
仕掛品	1,424,747	1,700,677
貯蔵品	56,907	65,132
前渡金	49,250	49,326
その他	32,131	42,406
貸倒引当金	△6,100	-
流動資産合計	11,451,628	11,464,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,368,890	3,189,320
構築物（純額）	118,224	108,823
機械及び装置（純額）	1,054,383	1,172,616
車両運搬具（純額）	6,334	8,901
工具、器具及び備品（純額）	57,774	55,565
土地	330,159	319,163
リース資産（純額）	62,611	67,420
建設仮勘定	230,841	185,269
有形固定資産合計	5,229,221	5,107,081
無形固定資産		
ソフトウェア	9,324	12,044
電話加入権	2,412	2,412
リース資産	644	339
借地権	360	360
無形固定資産合計	12,742	15,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,592,437	2,965,135
関係会社株式	7,050	7,050
出資金	310	310
長期前払費用	7,264	3,588
会員権	2,439	2,439
保険積立金	388,461	391,365
その他	97,334	189,460
貸倒引当金	△140	△160
投資その他の資産合計	3,095,157	3,559,188
固定資産合計	8,337,120	8,681,427
資産合計	19,788,749	20,145,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	184,354	124,528
買掛金	483,298	624,745
電子記録債務	2,301,227	1,632,757
未払金	301,086	149,117
未払法人税等	275,450	196,792
未払消費税等	91,890	26,135
未払費用	75,945	59,332
前受金	49,280	49,280
預り金	41,114	12,188
リース債務	31,423	27,469
賞与引当金	41,700	153,600
設備関係支払手形	7,172	9,042
その他	-	129
流動負債合計	3,883,942	3,065,118
固定負債		
役員退職慰労引当金	140,225	-
長期末払金	-	144,100
退職給付に係る負債	649,121	795,998
長期預り保証金	696,369	696,369
リース債務	36,075	40,006
繰延税金負債	93,709	189,447
固定負債合計	1,615,500	1,865,922
負債合計	5,499,443	4,931,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,307	395,307
資本剰余金	648,247	648,858
利益剰余金	13,100,135	13,560,044
自己株式	△722,686	△705,920
株主資本合計	13,421,003	13,898,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	854,091	1,271,902
為替換算調整勘定	14,209	44,314
その他の包括利益累計額合計	868,301	1,316,217
純資産合計	14,289,305	15,214,506
負債純資産合計	19,788,749	20,145,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高		
製品売上高	6,385,227	6,489,003
商品売上高	204,645	22,304
加工屑売上高	1,085,063	868,935
商品及び製品売上高合計	7,674,936	7,380,243
不動産賃貸収入	432,856	433,503
売上高合計	8,107,793	7,813,746
売上原価	6,603,987	6,286,550
売上総利益	1,503,806	1,527,196
販売費及び一般管理費		
運賃	75,694	69,765
役員報酬	116,753	147,756
株式報酬費用	—	8,688
給料	189,212	182,524
賞与	27,758	31,711
賞与引当金繰入額	34,473	31,027
退職給付費用	11,549	25,310
役員退職慰労引当金繰入額	11,625	3,875
減価償却費	18,296	17,449
その他	340,766	387,663
販売費及び一般管理費合計	826,129	905,772
営業利益	677,677	621,423
営業外収益		
受取利息	1,268	3,057
受取配当金	39,887	40,865
為替差益	43,608	37,929
雑収入	13,203	14,328
営業外収益合計	97,968	96,181
営業外費用		
雑損失	49	30
営業外費用合計	49	30
経常利益	775,595	717,574
特別利益		
固定資産売却益	337	66,662
投資有価証券売却益	—	221,872
特別利益合計	337	288,534

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	669	—
退職給付費用	—	95,845
特別損失合計	669	95,845
税金等調整前四半期純利益	775,263	910,263
法人税、住民税及び事業税	246,261	338,664
法人税等調整額	△52,460	△88,657
法人税等合計	193,801	250,007
四半期純利益	581,462	660,256
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	581,462	660,256

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	581,462	660,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167,204	417,810
為替換算調整勘定	10,040	30,104
その他の包括利益合計	△157,164	447,915
四半期包括利益	424,298	1,108,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,298	1,108,171
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は2023年3月28日開催の第91回定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給が決議されました。これに伴い役員退職慰労引当金を全額取崩し、打切り支給額の未払い分を固定負債の長期未払金に計上しております。

(退職給付制度の改定)

当社は2023年3月に2023年4月1日を施行日とする退職金規程等の改定を行い、60歳から65歳への定年延長に伴う退職給付型年金制度及び退職一時金制度の改定を行っております。この制度改定に伴い退職給付債務が9千5百万円増加しており、同額を特別損失に退職給付費用として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	バルブ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
LPG容器用バルブ	3,216,476	—	3,216,476
配管用バルブ	1,522,144	—	1,522,144
高圧ガスバルブ及び ガス関連設備機器	1,823,543	—	1,823,543
商品	27,708	—	27,708
黄銅削り粉	1,085,063	—	1,085,063
その他	—	564	564
顧客との契約から生じる収益	7,674,936	564	7,675,500
その他の収益	—	432,292	432,292
外部顧客への売上高	7,674,936	432,856	8,107,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,674,936	432,856	8,107,793
セグメント利益	393,101	284,575	677,677

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	バルブ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
L P G 容器用バルブ	3,249,062	—	3,249,062
配管用バルブ	1,706,886	—	1,706,886
高圧ガスバルブ及び ガス関連設備機器	1,533,055	—	1,533,055
商品	22,304	—	22,304
黄銅削り粉	868,935	—	868,935
その他	—	581	581
顧客との契約から生じる収益	7,380,243	581	7,380,825
その他の収益	—	432,921	432,921
外部顧客への売上高	7,380,243	433,503	7,813,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,380,243	433,503	7,813,746
セグメント利益	336,222	285,200	621,423

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 第2四半期連結累計期間より不動産賃貸事業の売上高の一部について、その他の収益として表示しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

(公正取引委員会による立入検査について)

当社は、石油ガス容器用バルブの販売に関し、独占禁止法違反(不当な取引制限の禁止)の疑いがあるとして、公正取引委員会の立入検査を受けました。

今回、立入検査を受けた事実を真摯に受け止め、公正取引委員会の調査に対し全面的に協力してまいります。